

第3回 中央区自治協議会 会議概要（速報含む）

開催日時	平成29年6月30日（金曜）午後3時00分から午後5時5分まで
会場	市役所本館 6階 講堂
出席者	<p>委員</p> <p>田巻委員, 清水委員, 田村(幸)委員, 外内委員, 浅野委員, 高橋委員, 加藤委員, 渡部委員, 野澤委員, 樋口委員, 青木委員, 廣瀬委員, 伊藤委員, 竹田委員, 三國委員, 田村(良)委員, 田辺委員, 菊地委員, 佐藤委員, 富樫委員, 吉岡委員, 津吉委員, 小林委員, 細川委員, 南雲委員, 渡邊委員, 高岡委員, 藤瀬委員, 大滝委員, 後藤委員, 肥田野委員, 松田委員</p> <p>出席 32名 欠席 6名 (川崎委員, 関谷委員, 大塚委員, 本間委員, 村山委員, 井上委員)</p> <p>事務局</p> <p>[新潟市教育委員会] 中央公民館長, 中央区教育支援センター所長 [新潟市] 保健衛生総務課健康政策室長, 水と土の文化推進室長 [中央区役所] 区長, 副区長, 総合窓口担当課長, 区民生活課長, 健康福祉課長, 保護課長, 建設課長, 南出張所長, 地域課長, 地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>○ 会議の成立について 委員 38名中 32名出席のため, 規定により会議は成立</p> <p>2 議事（議長＝田村会長）</p> <p>(1) 中央区自治協議会委員推薦会議の議決について （資料 議1）</p> <p>○ 中央区自治協議会委員推薦会議座長の清水委員より, 山潟地区コミュニティ協議会選出の金子委員から辞任願が提出されたことに伴い, 同コミュニティ協議会より富樫純一委員の推薦があり, 委員推薦会議として市長への推薦を議決した旨報告がありました。</p> <p>○ また, 議長からは, 要綱の規定により委員推薦会議の議決を受けて, 中央区自治協議会として市長へ推薦を行い, 正式に委嘱された旨報告がありました。</p> <p>(2) 中央区自治協議会委員推薦会議の構成員選出について （資料 議2）</p> <p>○ 議長より, 山潟地区コミュニティ協議会の金子委員の辞任に伴い, 他の委員の選出方法と同様に選出した結果, 山潟地区コミュニティ協議会の吉岡昭彦委員が該当することとなった旨説明があり, 了承されました。</p>

(3) 中央区の特色ある区づくり予算に係る事業の企画立案について (意見照会)
(資料 議 3-1 3-2 3-3)

- 副区長より、平成 30 年度に区役所が取り組む特色ある区づくり事業の企画立案における意見照会について説明がありました。
内容として、原則 3 年以内の中央区総額 2,800 万円を上限とした件数制限のない中央区役所が実施するソフト事業の企画立案に対し、ご意見、ご提案をいただきたいということで、7 月 31 日まで募集するというものでした。

3 報告

――自治協議会委員活動報告――

(1) 部会からの報告について (資料 報1-1 1-2 1-3 1-4 1-5)

- 「地域活性化部会」浅野座長、「福祉・安心安全部会」渡邊座長、「地域と学校部会」渡部副座長、「水辺とみなと部会」外内座長、「中央区自治協議会だより編集部会」細川座長より、部会等の開催概要及び検討内容について報告がありました。

(2) 委員からの報告について (資料 報2-1 2-2)

① 新潟市区自治協議会会長会議

- 議長より、平成29年5月25日に開催された「第1回 新潟市区自治協議会会長会議」において、互選の結果、西区の岩脇正之会長が座長に選任されたこと、区自治協議会のあり方検討として、「役割が広すぎるのではないか」「審議内容を地域に持ち帰り、活動に活かせていないのではないか」「地域代表としての役割を明確化してこなかったため、関係者間で役割について認識のずれが生じているのでは」「委員定数が全区で同じでないといけないのか」など活発な意見交換がなされた旨、報告がありました。

② 信濃川やすらぎ堤利用調整協議会

- 菊地委員より、平成29年6月21日に開催された「第6回 信濃川やすらぎ堤利用調整協議会」について報告がありました。

――各所管課からの報告(説明)――

(3) 新潟市区自治協議会のあり方検討委員会の設置について (資料 報 3)

- 市民協働課長より、新潟市区自治協議会のあり方検討委員会の設置について、設置趣旨、主な課題、委員構成、検討スケジュール案などについて報告がありました。
・「新潟市区自治協議会のあり方検討委員会」と「新潟市区自治協議会会長会

議での区あり方検討」の2つの会議が必要なのかどうか、どこがどう違うのかという質問があり、あり方検討委員会では、過去の会長経験者からの経験則に基づく意見を、会長会議では現在の委員からの意見を伺うとの違いがあり、それぞれの意見を集約していきたいとの説明がありました。

- ・条例をどこまで掘り下げて検討できるか疑問であるとの意見があり、平成30年度までに時間をかけて条例改正をするかどうかも含めて検討していく予定であり、運営指針も含め、総合的に検討していきたいとの回答がありました。

(4) 中央区区ビジョンまちづくり計画第2次実施計画について

(資料 報4-1 4-2)

- 地域課長より、区ビジョン基本方針の実現に向けた取り組みを示す平成27年度から平成34年度までの8年間の「中央区区ビジョンまちづくり計画」のうち、平成29・30年度に実施する具体的な事業や取り組みを「第2次実施計画」とし、策定した旨説明がありました。
- ・難しいカタカナ表記には、日本語表記を加えてほしいとの意見があり、留意していく旨回答がありました。
- ・介助犬に対する支援があるかどうか、避難場所ごとの物品在庫リストを管理しているのか、不足分は自治会で調達するのかといった質問があり、後日、回答する旨説明がありました。
- ・事業の再掲がいくつかあるが、項目を一本化できないものかという意見があり、複合的な効果を期待するものについては再掲していることをご理解いただきたい旨説明がありました。
- ・8年の計画は短すぎるので、せめて50年のビジョンをつくらないと将来を託すものにはならないのではという意見があり、想いとしては将来を見据えた制度設計が必要ではあるが、具体の計画にまとめる場合は、一定の時限、区切りが必要であり、具体的な事業を計画し、進捗管理する必要もあるとの考えが示されました。
- ・この実施計画は、部会での自治協提案事業の検討にとっても役に立つものだと思うので、今後は、もっと早く示してもらいたいとの意見がありました。

(5) 健康寿命の延伸に向けた取り組みについて (資料 報5-1 5-2 5-3)

- 保健衛生総務課健康政策室長より、健康寿命の延伸に向けた取り組みのうち新潟市全体について、健康福祉課長より、中央区の健康課題や取り組み、目標値などの説明がありました。
- ・一般市民への周知のため、市報にいがたを活用してもっとPRしていくべきとの意見があり、検討を進めていく旨の回答がありました。
- ・市民のマイカー利用率の減少への取り組みについて意見があり、公共交通の利用により、歩数が増え、健康づくりに繋がると考えられるので、その点も踏まえて取り組めるよう考えていきたい旨の回答がありました。

- ・医療費の削減のためにも健診受診率の向上が重要なので、地域包括ケアシステムの事業の一環として、コミ協や自治会でも行うとよいのではとの意見があり、まずは、若い現役世代の方が地域の茶の間へ参加しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、健診の受診率を上げる取り組みも進めていきたい旨回答がありました。
- ・ヘルシー糖尿病ランチは、カロリー表記だけでなく糖質制限も表記してほしい旨の意見があり、提供するときはそういった情報も含め表記していきたい旨回答がありました。
- ・保健師から直接説明を聞くとよくわかるし、生活に密着した話が聞けるので、そういった活動を積極的にやっていただきたい旨の意見がありました。

(6) 「水と土の芸術祭 2018 基本計画」に対する市民意見の募集について

(資料 報 6-1 6-2 6-3)

- 水と土の文化推進室長より、水と土の芸術祭 2018 の基本計画の概要及び市民意見の募集について説明がありました。

4 その他

(1) 区教育ミーティングの開催について (資料 他1)

- 中央区教育支援センター所長より、第1回中央区教育ミーティングの開催について説明がありました。

(2) 自治協議会への意見聴取事項について (資料 他2)

- 地域課長より、前回の自治協議会で説明依頼のあった自治協議会への意見聴取事項について、条例において自治協議会の必須意見聴取としている事項は、区役所が所管する公の施設の設置や廃止する場合となっているが、跡地の活用など地域に密接にかかわる案件については、必須意見聴取の対象でなくとも、状況に応じてしっかりと情報共有していきたい旨説明がありました。

5 閉会

傍聴者	5名
報道機関	0社